なかよしだより

令和8年１１月2日（月）　担当　佐藤

あんなに「暑い・暑い」とエアコンフル作動していたことがうそかのように、あっという間に暖房が必須の季節に！西明寺ではまだのようですが、先日同じ西木でも桧木内では白くて冷たい雪が降りました。また、あの寒い冬の季節がやってくるのかぁ…とどんよりな気持ちになるのは私だけ？！楽しいこと・おいしいものを考えて、どんより気分を吹き飛ばし、元気に過ごしましょう！！



【由来】

江戸時代、子どもが生まれてすぐ亡くなったり、7歳までに病気で亡くなったりすることが多く、5代将軍徳川義綱が、自分の子どもの無事な成長を願い11月15日（鬼が出歩かない鬼宿日）に健康祈願のために神社へお参りをしたことが、由来といわれています。

【年齢】

〇男の子：3歳と5歳　　〇女の子：3歳と7歳　（現在は数え年でも満年齢でも良い）

＊3歳：「髪置」（3歳の春から髪を伸ばし始め、「髪置の儀」に髪を結い直す男女共）

5歳：「袴解」（男の子が5歳になる時、初めて袴と小袖を身に付け扇を持つ「袴解の儀」として男の子のみの風習として残っている。

7歳：「帯解」（不紐の着物から、本物の帯に締めるようになる「帯解の儀」として女の子のみの風習として残っている。

【千歳飴】

［千歳」には、「千年」「長い年月」という意味があり、「長く生きてほしい」という願いを込め、紅白のめでたい色で，鶴や亀、松竹梅等縁起物が描かれた袋に入れた飴を食べるようになりました。







親子で作ってみよう
ひとくちりんご飴

旬のリンゴを使って、大人も子どもも大好きなりんご飴を作ってみましょう！一口サイズに切ってから飴をからめる方が手軽に作りやすく、食べやすいのでおすすめ。失敗しないポイントは飴が色づき始める程度まで加熱することです。かわいいりんご飴を作って、自宅で美味しく屋台気分を楽しんでみませんか？

【材料】

リンゴ1個・レモン汁大さじ1・水７０ｍｌ・砂糖200ｇ

【作り方】

①りんごは8等分の放射状に切って芯を取り除き、横3等分に切る。ボウルにりんご、レモン汁を入れて混ぜ、３分ほどおく。水気をキッチンペーパーでしっかりふきとり、1切れずつつまようじを刺す。

②鍋に水、砂糖を入れて中火で熱し、薄く色づくまで時々揺すりながら煮詰める。火からおろし、ぬれ布巾にのせる(飴)。

③りんごを飴にからめ、クッキングシートの上に並べて冷蔵庫で30分ほど冷やし固める。



なかよしひろば

〈11月〉

- 5日（木）こども園であそぼう
- 12日（木）手作りおもちゃを作ろう
- 26日（木）誕生会・身体測定をしよう

〈12月〉

- 3日（木）こども園であそぼう
- 10日（木）手作りおもちゃを作ろう
- 17日（木）身体測定をしよう　誕生会＆クリスマス会をしよう